

<SpeakOut テキストとワークブックの使い方>

Lesson	① Grammar/Function	② Vocabulary	③ Pronunciation	④ Reading	⑤ Listening DVD	⑥ Speaking	⑦ Writing
ユニットのタイトル	文法と機能	単語	発音	読む	聞く	話す	書く

<各パートの詳細>

<テキスト宿題>

① Grammar	<p>毎回のレッスンの中心となるのが「文法」。 会話の正確性を高める上でもしっかりと理解しておく必要あり。</p>	<p>指示に従って、問題を解いておく。 文法の説明は細かくは書かれていないので、文法があやふやな場合は前もって調べておこう。</p>
② Vocabulary	<p>単語はレッスン前にチェック。 レッスンごとに単語の種類が分けられているので、種類ごとに単語力が身に付きます。</p>	<p>ペアワーク以外の部分すべて解いておく レッスンで必要な単語を覚えてくる。 Langage Bankも確認。</p>
③ Pronunciation	<p>単語のストレス、イントネーション、フォニックスなどを学びます。 クラスの中でも発音練習をしていきます。</p>	<p>音声聞いて発音練習しておく。</p>
④ Reading	<p>英語の記事を読んで、理解度をチェック。海外で実際に目に触れるような、実践的な内容。 音読練習もすることでさらに効果的なセクションになります。</p>	<p>読んで理解しておく。知らない単語も調べておこう。</p>
⑤ Listening	<p>会話のやりとり、アナウンスなどを聞きます。 実際の場面を想定して作られているので、あえて雑音なども収録されています。 そのため、とても実践的な作りになっています。</p>	<p>レッスンの一緒に問題をするので、予習では文字に目を通していただく。</p>
⑥ Speaking	<p>スピーキングができるようになるために必要なのが、①～⑤をしっかりこなしておくこと。ここが皆さんの最終ゴール。 考えられるアイデアをレッスン前に準備しておきましょう！</p>	<p>指示を確認して、話す内容を準備しておく。</p>

<Workbook>

Workbookはすべて復習で使います。レッスンを受けたあとに、内容確認として行いましょう。
レッスンで使うことはありませんが、毎回のレッスンの最初に確認をさせていただきます。
Workbookの模範解答を参考に丸付けをしておきましょう。